



「夏休み！ジオパーク親子巡検」火打ち石を探そう！

8月20日「夏休み！ジオパーク親子巡検」が松ヶ崎海岸で開催され、親子7組20名が参加しました。

参加者は海岸を歩いて様々な石を拾い、鉄ヤスリでたたいていました。その結果、硬い石は火花が出やすいことを確認し、火がつくまで一生懸命を石をたたいて火をおこしていました。

火打ち石は、江戸時代に一般庶民にも普及し、かまどやタバコの火などをつけるのに使われるようになりました。また、火おこしの他に、厄除けや縁起担ぎとしての使い道もあります。

参加者は火打ち体験を通して石の性質を学び、火をおこす大変さを実感していました。

主な内容

- シリーズ ジアス〔世界農業遺産〕2~3
- 10/16佐渡金山ヒルクライム・10/22~23佐渡トキソーデーウオーク 開催4
- 佐渡ふるさと島づくり寄付金にご協力を5
- 参加者募集！スイーツコンテスト／原生林と杉巨木群特別ツアー9

日本初の認定
ジラス
世界農業遺産
①

未来へつなげていく農業遺産 ジラスとともに佐渡を活かす

ジラスは正式名称を「世界重要農業遺産システム」といいます。ユネスコの「世界遺産」が遺跡や自然を対象としているのに対し、ジラスは農業活動や生物多様性を重視し、次世代へ継承すべき伝統農業や文化の保全を目的としています。佐渡の人たちが何世代にもわたり続けてきた農業の営みや新しく取り組んでいる「生きものを育む農法」、そして農業によってもたらされた美しい景観・文化が世界に認められました。ジラスは過去の「遺産」ではなく、未来につなげていくものなのです。

後、農業振興はもちろん、子どもたちの環境学習、交流人口の拡大や観光振興などのきっかけとしても期待できます。そこで、ジラスを市民の皆さんから知っていただき、佐渡の未来にどう生かしていくかをともに考えていただくため、今月号からシリーズで掲載します。

佐渡の農業

佐渡の農業は、水稻を主体とした経営形態です。地域性を生かし、国中平野では稲作、南佐渡では柿などの果樹、その他の海岸段丘では稲作と肉用牛や沿岸漁業による経営が営まれています。

トキの初放鳥にあわせて平成20年から生産をスタートさせた「朱鷺と暮らす郷」認証制度の普及により、江の設置や冬期湛水などの「生きものを育む農法」が農家に浸透し、取組みは着実に増加しています。そして、この制度で作られた認証米は毎年完売を続け、佐渡米全体の販売力強化につながっています。

このような、自然と人間が共生する農業システムのほか、中山間地域の里山・棚田の美しい風景や、伝統芸能の保存と継承もジラス認定において評価されました。

厳しい現状

佐渡の農業が抱える現実には厳しいものがあります。

その大きな問題のひとつは担い手不足です。総農家数7103戸のうち、後継者がいる農家は3165戸。農家からは「今の30〜40代が農業をやっていないのに、その子どもが農業をやるのか？」といった不安の声もあげられています。

耕作放棄地は、2005年は91,634アールでしたが、2010では106,952アールと増加しています。

ジラスQ&A

ジラスについての疑問やキーワードなどを解説します。

Q 「生物多様性」という言葉をよく聞きますが、どんなことですか？

生物多様性とは、多様な生きものたちの豊かな「個性」と「つながり」のことです。

わたしたちの生活は、食べるもの、着るもの、住むところなど、自然の営みから多くの恩恵を受けていますが、日常的に意識することはあまりありません。生物多様性を理解することは、自然の恵みに感謝することです。

後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地利用方式や景観を兼ね備えている証として、国連食糧農業機関（FAO）が認定するのが、ジラス（世界農業遺産）です。

Q ジラス認定によって、農法への制限はありますか？

農業者の農法そのものへの制限はありません。しかし、生物多様性を守ることが大きな条件です。農地を守り、耕作することが、生きものがすむ環境や美しい里山の風景を保つことにつながります。

Q ジラスに認定されたことで、何か期待されることはありますか？

佐渡の知名度が国内外で高まります。佐渡産農作物のブランド化や、観光資源としての活用など、佐渡の魅力が大きく向上することが期待されます。そのほか、環境学習の場として活用されることで、未来を担う子どもたちが佐渡の環境のすばらしさを知ることができ、また、都市住民や消費者との交流を推進することで、地域の



「生きものを育む農法」の田んぼ（新穂）



「朱鷺と暮らす郷づくり」
認証制度 取組実績

| 年度 | 面積 | 農家数 |
|--------|---------|------|
| 平成20年度 | 426ha | 256戸 |
| 平成21年度 | 862ha | 510戸 |
| 平成22年度 | 1,234ha | 695戸 |
| 平成23年度 | 1,320ha | 701戸 |



古い習わしを今に伝える「車田植」(北鶴島)



生きもの調査



伝統文化の保存・継承 鬼太鼓



7月28日に羽茂地区公民館で行った意見交換会

ジアス
GIAHS (世界農業遺産)
意見交換会を行いました

ジアスを市民の皆さんからご理解いただくため、両津・国中・相川・南部地域で7月に意見交換会を行いました。佐渡の農業やジアスの活用方法について、どのような取り組みを進めていくのか活発な議論が行われました。市では、市民の皆さんからご意見をいただき、今後5年間の行動計画(アクションプラン)に反映させていきます。

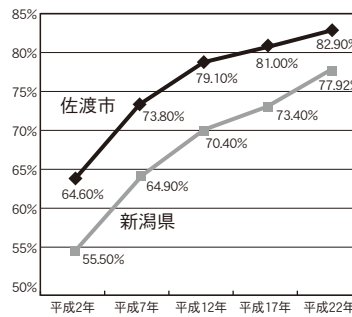
今後も集落や市内で活動している団体、農業者の皆さんなどとの意見交換会を実施していきたいと考えています。

詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

市役所農林水産課 生物多様性推進室
☎63-3761 FAX63-5127

60歳以上の農業就業者(販売農家)の構成比推移



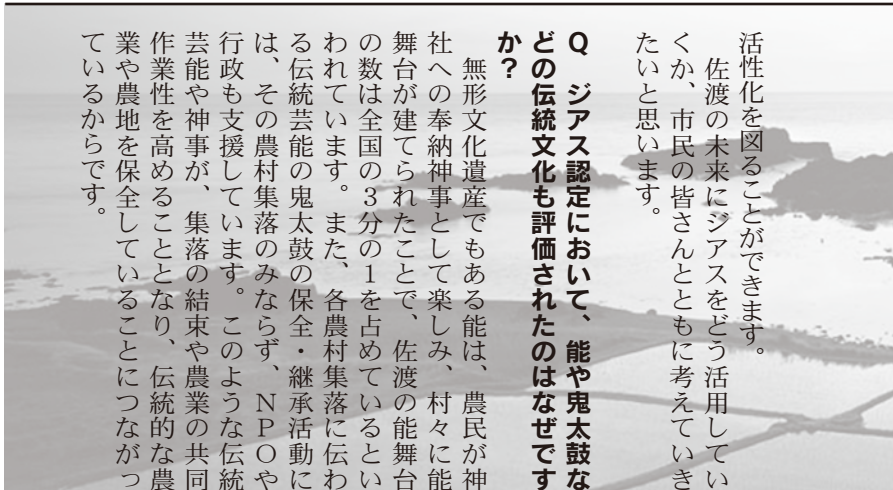
また、農業者の高齢化も深刻です。農業就業人口(自営農業に主として従事した人)の平均年齢は68.2歳。そして、60歳以上の農業就業者(販売農家)は7,114人で、農業就業者(販売農家)全体の82.9%を占めます。そのほか、農産物価格の低迷、離島の宿命である輸送コストの問題などもある。

り、佐渡の農業が解決すべき課題は多くあります。(データは2010年世界農林業センサス)

ジアス認定をきっかけに

今まで佐渡の農家の皆さんが普通にやり組んできた生産活動とともに、集落の結束を高める鬼太鼓や、神に収穫を感謝する奉納能など、伝統芸能の継承もジアス認定の評価ポイントとなりました。農家や集落にとっては当たり前の活動が世界に認められたのです。農業は、生物多様性の維持や環境保全のためにも、重要な役割を担っています。

ジアスをどう活用していくか。これから就業する若者にも魅力的で夢のある農業施策や、観光、交流人口の拡大、6次産業化など、地域活性化のために知恵を絞り、取り組んでいく必要があります。



活性化を図ることができます。佐渡の未来にジアスをどう活用していくか、市民の皆さんとともに考えていきたいと思えます。

Q ジアス認定において、能や鬼太鼓などの伝統文化も評価されたのはなぜですか?

無形文化遺産でもある能は、農民が神社への奉納神事として楽しみ、村々に能舞台が建てられたことで、佐渡の能舞台の数は全国の3分の1を占めているといわれています。また、各農村集落に伝わる伝統芸能の鬼太鼓の保全・継承活動には、その農村集落のみならず、NPOや行政も支援しています。このような伝統芸能や神事が、集落の結束や農業の共同作業性を高めることとなり、伝統的な農業や農地を保全していることにつながっているからです。

コース 全延長14.5km 標高差932m
 北沢選鉱場(海拔10m)～大佐渡スカイライン～
 スカイライン最高地点(海拔942m地点)
 参加費 一般6,000円 / 中・高校生5,000円
 申込締切 9月22日(木)まで ※締切延長しました!
 申込方法 インターネットまたは専用郵便振替
 お問い合わせ 佐渡金山ヒルクライム大会実行委員会
 事務局(一般財団法人 佐渡市スポーツ振興財団)
 ☎0259-52-3800



大佐渡スカイライン交通規制のお知らせ
 大会当日、交通規制を行います。ご協力をお願いします。
 交通規制場所 北沢選鉱場から白雲台まで
 交通規制時間 午前8時～午前11時

| | |
|-----------|------------------------|
| 6:30～7:30 | 受付(相川公園) |
| 7:30～7:45 | 開会式・競技説明(相川公園) |
| 7:45～7:55 | スタート地点まで移動(相川公園～北沢選鉱場) |
| 8:00 | スタート(北沢選鉱場) |
| 10:00 | ゴール制限時間(最高地点942m) |
| 11:00 | 表彰式パーティ(相川公園) |
| 13:00 | 終了 |

ホームページ<http://www.e-sadonet.tv/~hill-climb>

歴史的遺産「佐渡金山」から大佐渡スカイライン最高地点942mまで駆け上がる自転車イベント

10月16日(日) 佐渡金山ヒルクライム2011

参加者募集中!

10月22日(土)～23日(日)

佐渡トキツデーウオーク2011

1日目 10月22日(土) 佐渡小木・千石船の里のみち

11kmコース: 小木みなと公園→宿根木→千石船展示館→琴浦→矢島・経島→小木みなと公園

22kmコース: 小木みなと公園→宿根木→沢崎鼻灯台→宿根木→千石船展示館→琴浦→矢島・経島→小木みなと公園

2日目 10月23日(日) 佐渡相川・尖閣湾の昔のみち

8kmコース: 金山第3駐車場→京町→千畳敷→小川→ファミリーオ佐渡相川→達者レストハウス前

16kmコース: 金山第3駐車場→京町→千畳敷→小川→ファミリーオ佐渡相川→達者→尖閣湾揚島→達者レストハウス前

※ゴール後、スタート地点へ戻る無料シャトルバスがあります。



申込方法 参加申込用紙に必要事項をご記入の上、佐渡トキツデーウオーク事務局までお送りください。申込用紙は佐渡トキツデーウオークホームページ (<http://www.e-sadonet.tv/~tokiwalk/>) のほか、大会事務局、市役所本庁・各支所・行政サービスセンターにあります。

参加費 大人(高校生以上) 1日 1,000円 2日 2,000円 子ども(中学生以下) 無料

○参加費は郵便振替でお振り込みください。(郵便局備え付けの一般振替用紙をご利用ください)
 加入者番号「00530-6-49348」 加入者名「佐渡トキツデーウオーク実行委員会」
 通信欄に住所、氏名を記入してください。

申込締切 9月30日(金) 振込分まで ※9月30日～大会当日も受け付けますが、参加者名簿への記載はできません。また支給品が無くなる場合もあります。

申込み・お問い合わせ 佐渡トキツデーウオーク事務局(一般財団法人 佐渡市スポーツ振興財団)

〒952-1324 新潟県佐渡市中原234-1 アミューズメント佐渡2階

☎0259-52-3800 FAX0259-52-2335

佐渡ふるさと島づくり寄付金

(ふるさと納税)にご協力ください

市では、「ふるさと佐渡のために貢献したい」「大好きな佐渡を応援したい」という思いをお持ちの方々から、寄付金という形で佐渡の活性化のために応援していただく「佐渡ふるさと島づくり寄付金」を募集しています。この寄付金は「ふるさと納税」として住民税の軽減措置がありますので、帰省の方や市外のご親戚・ご友人へぜひご紹介ください。

お問い合わせ 市役所税務課 市民税係 ☎63-5110

寄付金活用メニューは次の6つです

| 寄付金活用メニュー | |
|---------------------|-------------------|
| ①人と自然にやさしい島づくり応援コース | 自然、環境の分野 |
| ②健やかな暮らしづくり応援コース | 福祉、医療の分野 |
| ③活力のあるまちづくり応援コース | 産業振興、観光、定住の分野 |
| ④教育と文化の薫るまちづくり応援コース | 教育、文化、スポーツの分野 |
| ⑤市長にお任せコース | 市長に一任または上記以外の分野 |
| ⑥世界遺産推進基金コース | 佐渡金銀山の世界遺産登録支援の分野 |

※今年度は7月末までに、38名の方々から139万3,000円のご寄付をいただいています。

税(住民税・所得税)が軽減されます

自治体(市区町村・都道府県)へ寄付をした場合、申告することにより、その寄付金のうち2,000円を超える部分について、住民税所得割額のおおよそ1割を上限として、住民税の寄付金税額控除を受けることができます。

寄付をすることで、住民税の一部を応援する自治体へ納税することと同様の効果となることから、「ふるさと納税」といわれています。

また、所得税においても当該寄付金のうち2,000円を超える部分について、確定申告することで税の還付を受けることができます。

※寄付金申込書は、市役所税務課・各支所市民課・行政サービスセンター・市ホームページにあります。

昨年度は148件、748万9,000円のご寄付をいただきました

寄付金は次の事業に活用しました。

○トキの野生復帰に向けた人と生きものが共生する社会づくり/資源ごみなどのリサイクルとごみの減量化推進/太陽光発電などのクリーンエネルギー普及事業

○外出支援や配食サービスなどの高齢者生活支援事業/島の医師確保の取り組みや子育て支援活動

・216万3,000円

○地産地消の取り組みや地域食材のブランド化事業/空き家の活用や交流活動などの定住促進事業/地域の祭りやイベントの開催支援

・160万6,000円

○佐渡金銀山の世界遺産登録に向けた取組み/佐渡国際トライアスロン大会の開催

・188万円



道遊の割戸

有料広告募集中

市報さどや市ホームページに広告を掲載しませんか！ 会社やお店の宣伝に、ぜひご利用ください。

市報さどの場合 1回につき

- ・60mm×57mmの枠・・・10,000円
- ・60mm×87mmの枠・・・15,000円
- ・60mm×176mmの枠・・・30,000円

市ホームページの場合 1か月につき

- ・トップページ 1枠・・・10,000円
- ・その他のページ1枠・・・5,000円

掲載に関するご相談は

市役所総務課 広報広聴係 ☎63-3111 ※掲載希望月の前月10日までにご連絡ください。

地上デジタル放送をアンテナで受信されている世帯や事業所の皆さんへ

チャンネル変更に関する重要なお知らせ

市内では、地上デジタル放送の一部のチャンネルが全く映らないといった状況がしばしば発生しています。これは気象条件によって、『他地域のテレビ電波が混信することによる受信障害』とされています。

このため、総務省では混信解消対策を実施することとなりました。この対策は、地上デジタル放送のチャンネル体系を変更することによって混信を防ぐものです。

対策実施後は多くの地デジ受信機が自動的にチャンネル設定を変更する見込みですが、状況によってはテレビやチューナーのチャンネル設定を yourself で再設定していただく場合も想定されます。

つきましては、チャンネル切り替え後に一部の地上デジタル放送が見られなくなった場合は、チャンネルの再設定をお願いします。

なお、テレビのリモコン番号に変更はありません。

○ 混信解消対策の日程と対象中継局

| 日程 対象中継局 | 10月 | | | | 11月 | | |
|---------------|---------|-----------|--------|-------------------|-----------|--------|---------|
| | ～19日(水) | 20日(木) | 26日(水) | 27日(木)～ 31日(月) | 1日(火) | 23日(水) | 24日(木)～ |
| 両津 (ドンデン山) | | チャンネル切替期間 | | | | | |
| 高千 (高千) | | ←→ | | | | | |
| 相川 (小仏峠) | | | | | チャンネル切替期間 | | |
| 下相川 (鹿伏) | | | | | ←→ | | |



○ 対象となる世帯、事業所

上記の対象中継局の電波を、アンテナで受信されている世帯や事業所が該当します。

ケーブルテレビで視聴されている場合や、本土の中継局の電波を受信している場合は変更ありません。

○ 対象となる地デジ受信機

デジタルテレビ、デジタルチューナー、デジタルチューナー内蔵録画機器、ワンセグテレビ、地デジ対応パソコン など

お問い合わせ

チャンネル設定のやり方がわからないチャンネル設定がうまくいかない

『チャンネル変更コールセンター』

総務省 テレビ受信者支援センター

(デジサポ)

☎ 0120-922-303

※IP電話などでつながらない場合は

☎ 03-4321-0770

受付時間

平日 午前9時～午後9時
土日祝 午前9時～午後6時

クリーンセンターからのお願い

ごみの分別を確実に！

可燃ゴミ 不燃ゴミ



佐渡クリーンセンターの改修工事では燃えるごみの「一時保管」や「ごみの減量化」等にご協力いただき、ありがとうございます。このたびの工事が完了しましたので、お知らせします。

なお、燃えるごみの中に鉄類、その他金属類等が混入され、灰出しコンベアーの異常停止が頻繁に発生しています。

不燃物の混入により、機械の損傷が大きい場合、修繕に多大の費用がかかるほか、整備、点検等で休炉となった場合は、ごみの受入ができなくなりますので、「燃えるごみ」と「燃えないごみ」の分別を確実にお願いします。

お問い合わせ

市役所環境対策課 廃棄物対策係
☎ 63-3113

佐渡環境賞 受賞者を紹介します

市役所環境対策課 ☎63-3113



美しい島佐渡・エコアイランド推進

協議会では、市民、市民団体、学校、事業者が自主的に取り組む活動をたたえ、環境意識の向上を図ることを目的に、「佐渡環境賞」を募集しました。

応募総数12件の中から、佐渡環境大賞、佐渡環境賞を受賞した団体の活動を紹介します。

佐渡環境大賞 佐渡市消費者協会

平成7年から全国に先駆けて島内各地でマイバッグ持参運動に取り組み続け、市と協力し「レジ袋ゼロ運動」を展開した結果、多くの市民がマイバッグを持って買い物をするようになりました。また、両津埠頭に花のプラントを飾る活動に参加したり、廃油せっけん作りなどさまざまな活動に取り組んでいます。島内の店舗前で行う「レジ袋ゼロ運動マイバッグキャンペーン」は、今後も継続的に取



レジ袋ゼロ運動マイバッグキャンペーン

継続的に取

り組んでいきます。

佐渡環境賞 佐渡市立八幡小学校

平成13年から「雪の高浜」（八幡海岸）、「越の松原」（防風林・夕日の森公園）復活運動の一環として、毎年の海岸清掃をはじめ、植林活動、街中美化活動などに地域とともに取り組んでいます。近年では地域の特産「八幡いも」の栽培を通し、生ゴミ堆肥を利用した循環型農地「チャレンジ八幡いも」で活動を展開中です。環境ボランティアを通し、児童の社会勉強に繋がり、積極的な参加、取組みにより地域の活性化にも貢献しています。

佐渡環境賞 株式会社本間組 佐渡支店

省エネルギー効果等の環境対策となる屋上緑化技術を、加茂湖で廃棄されるだけのカキ殻に着目し、粉碎材料としてリサイクルすることで、環境に負担をかけない事業展開に取り組んでおり、主に新潟県内と関東地域で施工実績を挙げています。さらに、太陽光発電と屋上利用において共有しながら、カキ殻を利用した屋上緑化工法の普及に努め、環境負荷の低減を図る事業に取り組んでいきます。

情報④ 介護保険

全国一斉 無料成年後見相談会

無料相談会ですので、ご利用ください。

日時 9月19日（月・敬老の日）

午前10時～午後4時

会場

・新潟会場 新潟市中央区花園1

―2―2

・長岡会場

長岡市大手通2丁目

2―6

なおか市民センター

※相談は予約制です。相談を希望

の方は、

「リーガルサポートにいがた」

☎025-228-1727

へ事前にご予約ください。相談は

全て無料です。秘密は厳守しま

す。

来春、複数の介護施設の開設や増床があり、今後ますます介護職等の人材が不足します。介護職への就業を考えている方は、市役所高齢福祉課またはハローワーク佐渡（☎27-2248）までご連絡ください。

高齢者、知的障害者、精神障害者、身体障害者の方の相続・遺言・介護・福祉・成年後見申立などに関わる問題につき、司法書士および社会福祉士が相談をお受けし、問題解決のアドバイスをします。



お問い合わせ

市役所高齢福祉課 介護保険係

☎63-3790

「たった一人のあなたです たった一つの命です」

”大切な命を守るために“

日本では平成10年から毎年3万人を超えの方が自殺で命を失っています。

たった一人のあなた、大切な命を救うために、国では9月10日～16日までは『自殺予防週間』に、さらに新潟県では9月を『自殺対策推進月間』に定めています。

国が作成した「あなたにもできる自殺予防のための行動」は、自分の周りにサインを発している人がいたとき、どう行動すればよいかを記してあります。また、相談窓口もあります。一人で悩むより、まずは相談してみましよう。

相談窓口

月曜～金曜（祝日は除く）
午前8時30分～午後5時15分

・佐渡保健所

☎ 74-3407

・市役所市民生活課健康推進室

☎ 63-3115

・市役所社会福祉課障がい福祉係

☎ 63-5113

いのちを守る

あなたにもできる 自殺予防のための行動

気づき 家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

- 発言や行動の変化や体調の変化など、家族や仲間の変化に敏感になり、心の悩みや様々な問題を抱えている人が発する周りへのサインになるべく早く気づきましょう。
- 変化に気づいたら、「眠れていますか？」など、自分にできる声かけをしていきましょう。

傾聴 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

- 悩みを話してくれたら、時間をかけて、できる限り傾聴しましょう。
- 話題をそらしたり、訴えや気持ちを否定したり、表面的な励ましをしたりすることは逆効果です。本人の気持ちを尊重し、共感した上で、相手を大切に思う自分の気持ちを伝えましょう。

つなぎ 早めに専門家に相談するよう促す

- 心の病気や社会・経済的な問題等を抱えているようであれば、公的相談機関、医療機関等の専門家への相談につなげましょう。
- 相談を受けた側も、一人では抱え込まず、プライバシーに配慮した上で、本人の置かれている状況や気持ちを理解してくれる家族、友人、上司といったキーパーソンの協力を求め、連携をとりましょう。

見守り 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

- 身体や心の健康状態について自然な雰囲気の中で声をかけて、あせらずに優しく寄り添いながら見守りましょう。
- 必要に応じ、キーパーソンと連携をとり、専門家に情報を提供しましょう。

お知らせ

「いのちの健康づくり講演会

～三味線と生きる～

うつ病から回復した三味線プレイヤー
ヤー小林史佳さんによる講演と演奏
です。多くの方の参加をお待ちして
います。

日時 10月6日(木)午後2時～4時

(受付1時30分から)

場所 アミューズメント佐渡小ホール

内容

・講演「三味線と生きる」

講師 小林史佳さん

・津軽三味線演奏

演奏：小林史佳さん・高橋竹育さん



小林史佳さん

○入場は無料で、定員300名です。

お早めにお申込みください。

申込み・お問い合わせ

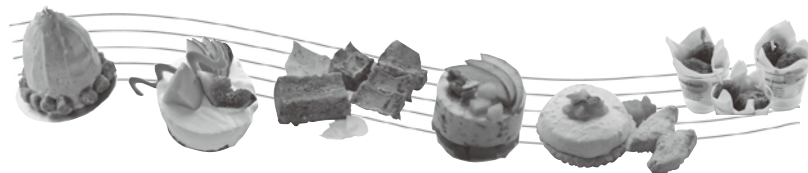
市役所市民生活課 健康推進室健康増進係

☎ 63-3115

FAX 63-3300



スイーツコンテスト 参加者募集中!



10月30日(日)にアミューズメント佐渡で開催される「地産地消フェスタ2011」のスイーツコンテスト参加者を募集中です。

参加資格は島内在住者および新潟県内在住者で、一次審査を通過した場合、10月30日の実演審査会に必ず出場できる方。募集内容は佐渡産米粉と乳製品を使用した未発表のオリジナルスイーツのレシピです。

日程

一次審査 10月中旬

東京・自由が丘「ドゥーパティスリーカフェ」菅又亮輔さん(佐渡出身のシェフ)による書類審査
 ・書類審査により6名を選考します。
 ・一次審査の結果を全員にお知らせします。

募集締切 10月10日(月) 必着

応募方法 応募用紙に完成品の写真2枚(大きさ:178mm×127mm「2L判」)を添付し、下記までご提出ください。応募用紙は、市役所本庁および各支所・行政サービスセンターにあります。

実演審査会 10月30日(日)

アミューズメント佐渡はまなすホールにて調理実演
 ・一般審査員30人による試食をもとにした審査を行います。
 ・一般審査員30人も同時募集しています。
 ・30等分相当の試食品を作成していただきます。



昨年の様子

佐渡産食材の美味しさや活用方法をあなたのオリジナルレシピでお伝えください!

申込み・お問い合わせ 市役所農林水産課 生物多様性推進室地産地消推進係(第2庁舎)
 〒952-1292 佐渡市千種232 ☎0259-63-3761/FAX0259-63-5127

「原生林と杉巨木群」 特別ツアー 参加者募集!

新潟大学演習林や関集落共有林の原生林・杉巨木群をめぐる3コースを、特別価格で参加いただけるツアーです。

実施日時

- A 千手杉ルート 9月23日(金・祝) 午前9時出発
- B 内海府ルート 9月24日(土) 午前8時出発
- C 外海府ルート 9月25日(日) 午前8時出発

参加対象

- A: アオネバ登山程度・約5時間のハイキング。
- B・C: 大佐渡山脈縦走程度・約9時間のトレッキング(登山靴とレインウェア必須)に対応できる体力のある方。
 (Aは小学生以上、B・Cは中学生以上参加できますが、小・中・高校生は保護者同伴とします。)

募集人数 A: 30名 B・C: 各15名

参加費(お一人様) A: 大人4,000円
 B: 大人11,000円(送迎代含む) C: 大人6,500円

申込方法 お電話にて先着順受付

集合・解散場所 佐渡観光協会両津港案内所
 (両津港佐渡汽船ターミナル2F)

申込み・お問い合わせ

(社) 佐渡観光協会 ☎27-5000



注意事項

- ・A・Cの参加費には交通費は含まれていませんので、出発登山口までは各自移動していただきます。お車の用意ができない場合には、オプションにてタクシーのご用意をします(送迎代お一人様A: 3,000円、C: 5,000円)。ご希望の際はツアー申込時にお伝えください。なお、実施直前での申込みはお受けできませんので、ご注意ください。
- ・受付後、参加案内文などをお送りしますので、申込みの際、「希望日」、「氏名」、「住所」、「生年月日」、「電話番号」をお伝えください。
- ・複数人数の申込みをされる場合には、全員分の上記の詳細事項が必要です。全員分の情報をお伝えいただいたうえで受付完了となります。
- ・小・中・高校生料金もあります。詳しくはお問い合わせください。

詳細は佐渡観光協会ホームページをご覧ください。
<http://www.visitsado.com>



佐渡kids生きもの調査隊代表团 中国へ！

環境省が主催する日中トキ子ども交流事業に、佐渡市の小学生からなる佐渡kids生きもの調査隊の代表13名が参加することになり、8月16日に中国へ向けて佐渡を出発しました。

この交流事業は、近藤環境副大臣が中国林業局を訪れた際、日中友好による子ども同士の交流が計画され、環境省から佐渡市に協力依頼があり実現するもので、今回が第1回目となります。日中友好のシンボルともなっているトキを通して、子どもたちの交流を深めるとともに、生物多様性の重要性を学習することを目的としています。

代表团は17日に中国へ到着すると、21日までの行程で陝西省洋県ト



中国の小学生との交流

キ救護飼養センターや野生のトキの観察、また、地元の小中学生による研究発表会や生きもの調査等の交流を行い、22日に

帰国。その後、環境省を訪問し、近藤副大臣に成果を報告しました。子どもたちの目線から感じ取ったことや学んだことを、ぜひわたしたちにも教えてほしいと思います。

◆市役所農林水産課 生物多様性推進室
トキ政策係（第2庁舎） ☎63-37761

ご寄附ありがとうございました



8月8日、市役所第2庁舎内でトキ環境整備基金への寄附金の贈呈式が行われました。東京都八王子市在住の佐藤様（写真左）より、トキの野生復帰の取組み支援として100万円のご寄附をいただきました。

ご芳志は、トキ保護増殖およびトキの生息環境整備のために活用させていただきます。

ありがとうございました。



世界遺産登録に向けて

佐渡金銀山絵巻をひもとく(2)

― 敷内(坑道)の灯り ―

真つ暗な敷内では、照明が欠かせません。慶長・元和年間（1596～1623）頃は、松脂を笹の葉で包んだ、松蠟燭が大量に使われていました。

その後、ヒノキを薄くけずって縄にした物に油をしみこませ、それを棒に巻きつけ灯をともし、紙燭（ししよく）にかわりました。

宝暦年間（1751～63）頃に描かれた「佐渡銀山往時之稼行絵巻」では、長い柄に油を入れた鉄の器をぶら下げて灯りをともし「釣（つり）」と一緒に紙燭が確認できます。また、留まって作業する場所には、素焼きの皿に油を入れて灯りをともし、灯明皿もしくは油皿といわれるものもありました。

灯明の油は荏桐油（じんとうゆ）という桐の実からつくったもので、若狭産の物が有名です。別名、若狭油ともいいました。

金銀の産出が減ると、寛政6年（1794）に安価な魚油に切り替わりました。その後、文化11年（1814）には魚油を2割減らし荏桐油と混ぜて用いましたが、それでも匂いと煙で大変苦労したものと考えられます。



紙燭を持ちはしごを登る穿子



手に釣を持ち、鉱石を背負う穿子

◆市役所世界遺産推進課（金井コミュニティセン
ター内） ☎63-5136



落石防止の現場。灯明皿を置く所を棚という

